

JIKEN CENTER News

自研センターニュース

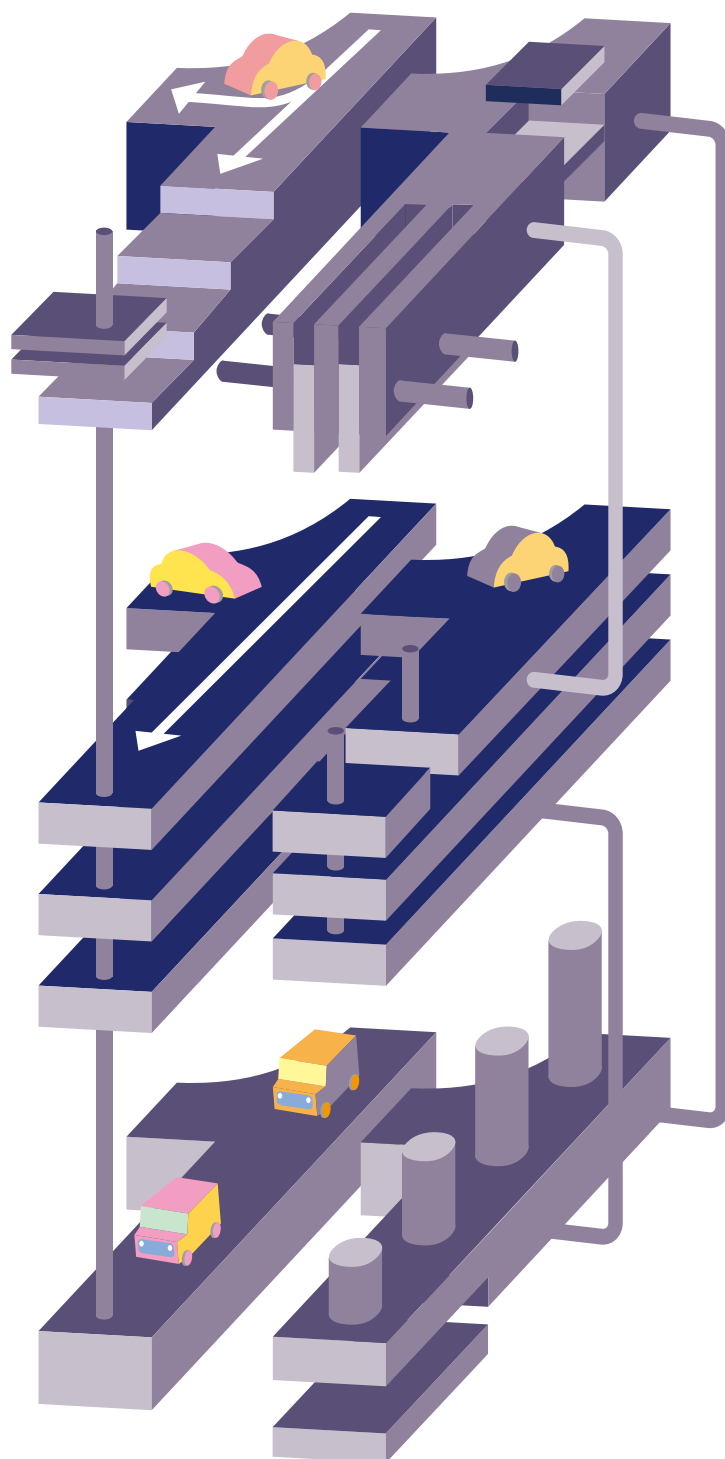
平成23年11月15日発行 毎月1回15日発行(通巻434号)

11

NOVEMBER 2011

C O N T E N T S

テクノ情報	2
自動車補修塗料メーカーホームページの紹介 その2	
リペアレポート	5
ドアミラー脱着作業の紹介	
「構造調査シリーズ」新刊のご案内	11
輸入車インフォメーション	12
フォルクスワーゲン ゴルフの フロントエンドコンパートメント構造	
リペア インフォメーションS	16
作業事例紹介	
1. ホンダフィット(GE6)の左右フロントシートベルト アウトタ取替時の取外し部品について	
2. 日産フーガ(Y51)のリアパネルアセンブリの形状	
3. マツダ アクセラ(BL5FW)ヘッドランプブラケット の補給形態と取替作業	



自動車補修塗料メーカーホームページの紹介 その2

はじめに

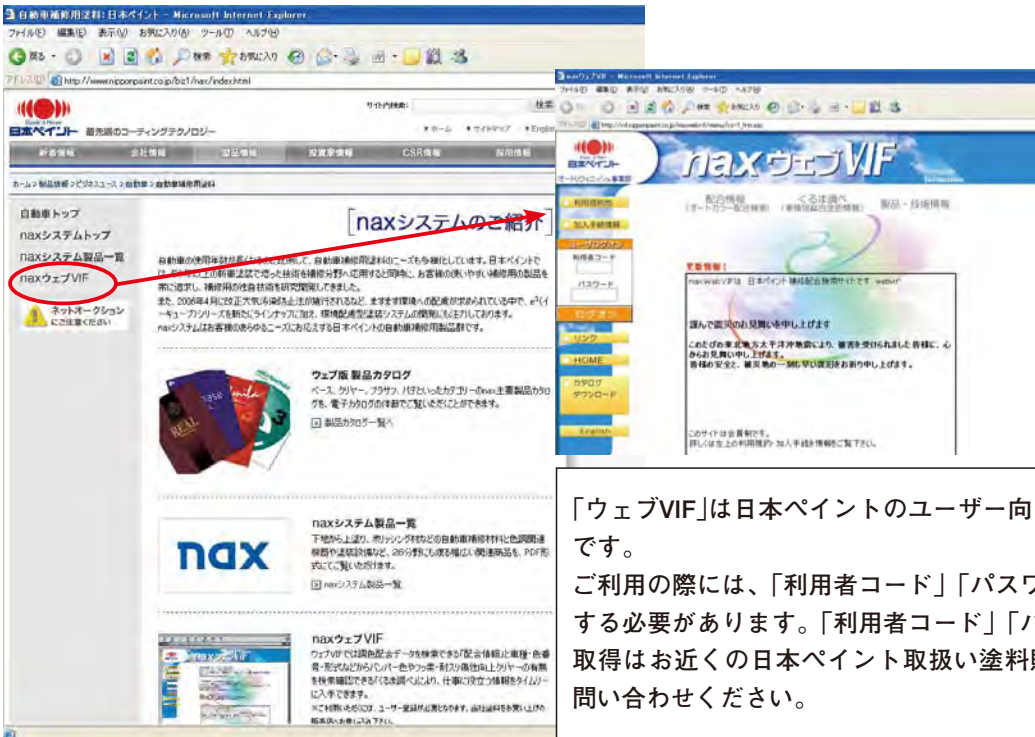
自動車補修塗料メーカーのホームページについて9月号で紹介しましたが、引き続きその第2弾として日本ペイントのホームページを紹介します。

日本ペイント株式会社

自動車補修用塗料 URL:<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/nax/ndex.html>

調色配合検索 “naxウェブVIF” URL:http://vif.nipponpaint.co.jp/naxwebvif/menu/vs-1_frm.asp

①計量調色配合検索の手順



「ウェブVIF」は日本ペイントのユーザー向け情報サイトです。
ご利用の際には、「利用者コード」「パスワード」を入力する必要があります。「利用者コード」「パスワード」の取得はお近くの日本ペイント取扱い塗料販売店までお問い合わせください。



配合情報 (オートカラー配合検索)

塗料タイプ: リアル/リアルモノ
メーカー: トヨタ
色コード: 1C0

検索

検索方法: 塗料タイプ【選択】→メーカー【選択】→色コード【入力(半角英数字)】→[検索]

配合情報 (オートカラー配合検索)

塗料タイプ: レアル/リアルモノ
メーカー: トヨタ
色コード: 1C0

トヨタ 35件

【モトロー】

印刷	nax No.	色コード	色名	車種例
☐	T-885	1C0	シルバーム	マーク2
☐	T-885-B	1C0	シルバーム	クレスタ
☐	T-885-C	1C0	シルバーム	ハリヤー
☐	T-885-D	1C0	シルバーム	マークII
☐	T-885-E	1C0	シルバーム	ナディア
☐	T-885-F	1C0	シルバーム	ルシーダ
☐	T-885-H	1C0	シルバーム	プログレ
☐	T-885-I	1C0	シルバーム	プログレ
☐	T-885-J	1C0	シルバーム	スパシオ

重量: 1000g

印刷用画面へ

nax No. **T-885-B** 1000g配合

原色番号	使用原色	レアル	リアルモノ
037	シャイニングシルバーム	502.0	-
023	ハイスバーク中目	287.0	-
064	マイカベース2Y	68.0	-
487	ジラフェロー	38.0	-
172	オパールカラー2PL	20.0	-
489	ブルーブラック	11.0	-
1525	グラスグリーン(SC)	8.0	-
499	サンダグリーン	6.0	-
151	スカシバランサ	60.0	-

配合情報

メーカー名: トヨタ

色コード: 1C0

塗料タイプ: 2M2P

トーン: モノトーン

色名: シルバーム

車種例: クレスタ

重量: 1000g

印刷用画面へ

表示されたnax No. (上記赤丸部分)を押すと、画面下部に配合が表示されます。

“印刷用画面へ”を押すと、調色のポイントが記載された配合情報が別ウィンドウで表示されます。

②その他の閲覧できる情報

- ・製品・技術情報からVIF製品案内情報(各製品の使用方法、トラブル対応など)
- ・カタログダウンロードから、各製品のカタログ

naxウェブVIF

会員情報メニュー

ようこそ日本ペイント(株)AR事業部 企画部様

*** 50℃×15分: 最速硬化クリヤー発売のご案内 ***

nax イーグス (3:1) RS クリヤー:
50℃×15分でポリッシュ可能

車体下回り塗装後の、クリヤーの乾燥時間を短縮したいとお考えではありませんか?
nax イーグス (3:1) RS クリヤーは、塗料乾燥時間を大幅に短縮することができます。
また、塗料が上塗りしやすい環境でも品質の高いクリヤーです。
冬の底塗時にこそ、その実力を発揮していただきたいので、ぜひ一度お試しください。
詳しくは、お取引のある塗料販売店様へお問い合わせください。
カタログは右欄【カタログダウンロード】へ

製品・技術情報

オリジナル配合印刷
ご意見お問い合わせ
ダウンロード
MSDS
カタログダウンロード
CTXデータダウンロード

REAL
one-pack type acrylic resin basecoat
パワーハイディング ベース塗料

【製品・技術情報】



【カタログダウンロード】



製品カタログ一覧や、製品一覧からミニハンドブックの内容を確認できます。

JGC (研修部/日吉健夫)

ドアミラー脱着作業の紹介

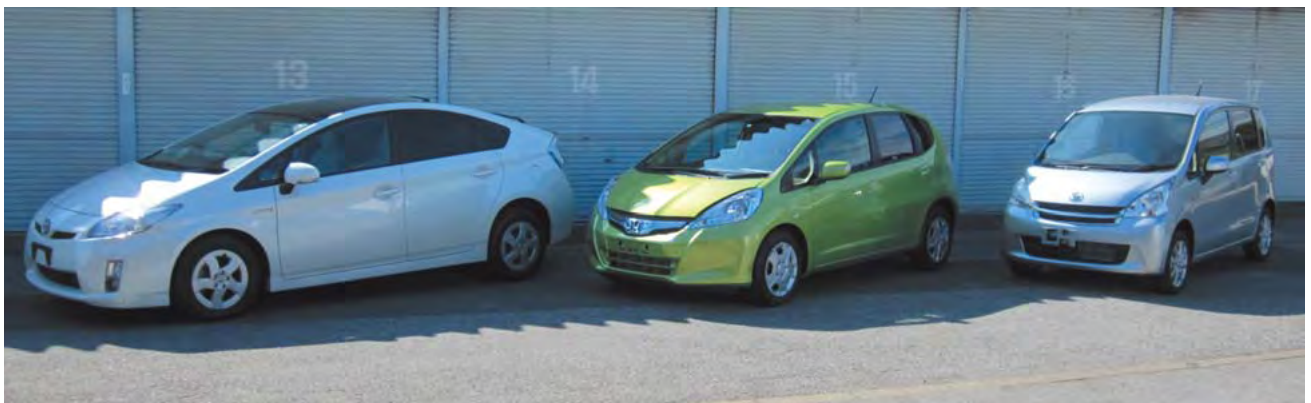
はじめに

ドアミラーに内蔵されたウインカは、以前では高級車のみの標準装備や、オプション扱いでしたが、最近では小型車や軽自動車に多く採用されています。

また、この他スマートキーアンテナ内蔵型など、ドアミラー*¹に取付く部品が多くなりました。

今回は、2011年上半期売上げ上位にランクインされている「トヨタ プリウス」「ホンダ フィットハイブリット」「ダイハツ ムーヴ」(写真1参照)の3車種について、損傷頻度が高いと思われるドアミラーの特徴、脱着方法、補給形態を紹介します。

*1:メーカにより名称が異なるため、文中ではドアミラー、各車説明ではメーカの名称通りの表記とします。



トヨタ プリウス

ホンダ フィットハイブリット

ダイハツ ムーヴ

写真1

1. トヨタ プリウス(ZVW30・写真2)

【特徴】

トヨタ プリウスのアウトリヤビューミラーは、全グレード標準でサイドターンランプ付カラードアミラーが装備され、アウトミラーカバーはボデー同色となります。(各部名称は図1を参照)

また、寒冷地仕様車にはミラーヒータが装備されます。



写真2

【脱着方法】

アウトリヤビューミラーを脱着するには、ミラー配線のコネクタを切離すためドアトリムを取外す必要があります。アウトリヤビューミラー、ドアトリムの取外し方法は以下の通りです。

- ① スクリューを2本取外します。(写真3・赤丸)
- ② パワーウインドウコネクタ、カーテシランプコネクタを切離し、ドアトリムを取外します。



赤丸：スクリュー箇所

写真3

- ③アウタミラーインストールホールカバー (写真4・a)、アウタミラープロテクタ(写真4・b)を取外します。

＊写真4ab赤丸部分裏側にツメがあり、ドアに嵌合されています。

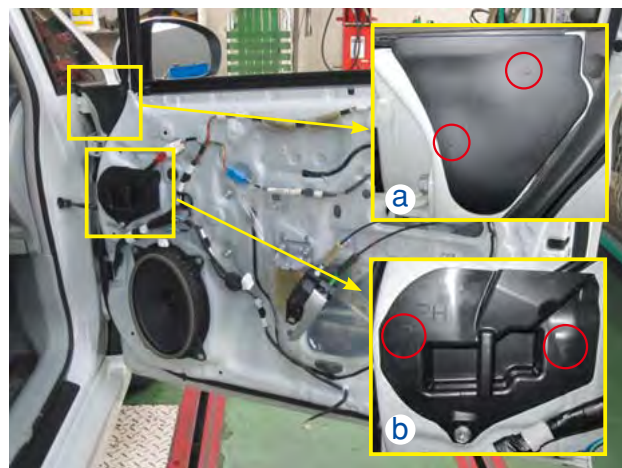


写真4

- ④アウタミラーインストールホールカバーを取外すと、アウタリヤビューミラーを固定しているボルトが3本確認できますので、取外します。同時にコネクタも切離します。(写真5・赤丸)

以上でアウタリヤビューミラーの取外しは終了です。取付けは逆の手順で行います。

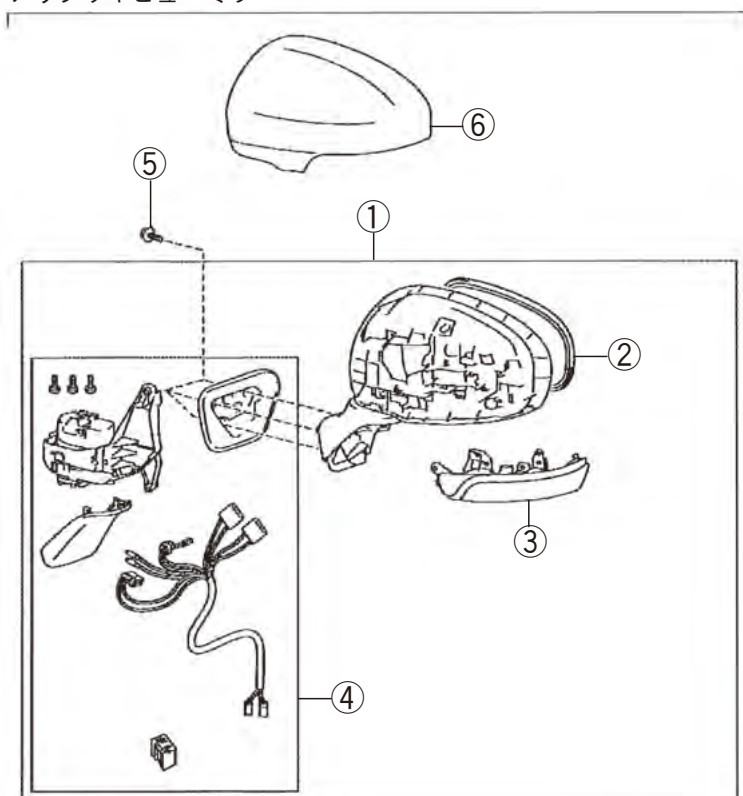


写真5

【部品補給】＊2011年9月現在

部品補給は、図1の通りです。アウタリヤビューミラー Assyにアウタミラーカバーは含まれませんので、見積時には注意が必要です。

アウタリヤビューミラー



- ①アウタリヤビューミラー Assy
- ②アウタミラー
- ③サイドターンシグナルランプ Assy
- ④アウタミラーリトラクタ
- ⑤ボルト
- ⑥アウタミラーカバー

図1

2. ホンダ フィットハイブリッド(GP1・写真6)

【特徴】

ホンダ フィットハイブリッドのドアミラー Assyは、全グレード標準でLEDドアミラーウインカが装備され、スカルキャップはボデー同色となります。(各部名称は図2を参照)

また、オプションのコンフォートビューパッケージを選択すると「親水／ヒートッドドアミラー」が装備されます。(ナビプレミアムセレクションは標準装備です)

【脱着方法】

ドアミラー Assyを脱着するには、ミラー配線のコネクタを切離すためフロントドアライニングCOMP(ドアトリム)を取外す必要があります。ドアミラー Assy、ドアトリムの取外し方法は以下の通りです。

- ①フロントドアグリップカバー下面にあるツメ(写真7・黄色丸枠)を外し、フロントドアグリップカバーを取外します。
- ②スクリュを2本取外します。(写真8・黄色丸)
- ③インサイドハンドルAssyを車両前方にずらしてフロントパワーウインドウのコネクタを切離し、フロントドアライニングCOMPを取外します。

- ④ドアミラーガーニッシュ (以下ガーニッシュと表記)を取外します。

*写真9・赤丸部にツメがあり、ドアに嵌合されています。

*下部のツメを外し、ガーニッシュを上を持上げると簡単に外せます。



写真6



写真7



写真8

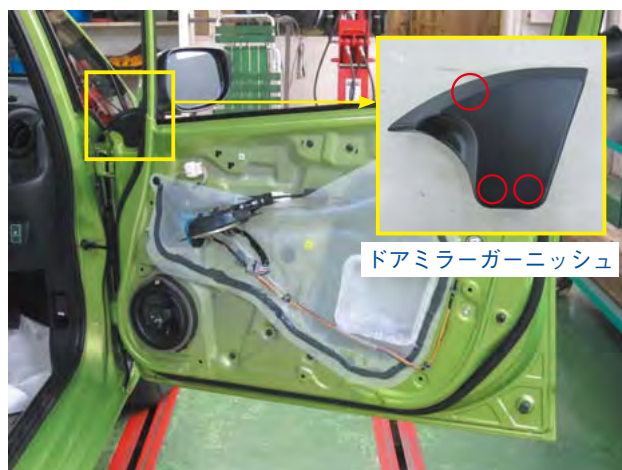


写真9

【留意点】

今回ガーニッシュを取外す際に、一部ツメが破損してしまいました。破損箇所は、ガーニッシュ上部のツメです。(写真10)

損傷の原因として、ガーニッシュ上部のツメがフロントドアに引っ掛かるように取付いている構造を熟知しておらず、ガーニッシュ下部の嵌合を外した際の勢いで上部のツメに負荷がかかったため破損しました。よって、取外しに際しては注意が必要です。

⑤ガーニッシュを取外すと、ドアミラー Assyを固定しているボルトが3本確認できますので、取外します。同時にコネクタも切離します。(写真11・赤丸)

以上でドアミラー Assyの取外しは終了です。取付けは逆の手順で行います。



写真10



写真11

【部品補給】*2011年9月現在

部品補給は、図2の通りです。部品名称は以下の通りです。部品のイラストに番号があるものがAssy補給、単品補給が設定されています。

*主要部品のみ赤字にて名称を記載してあります。

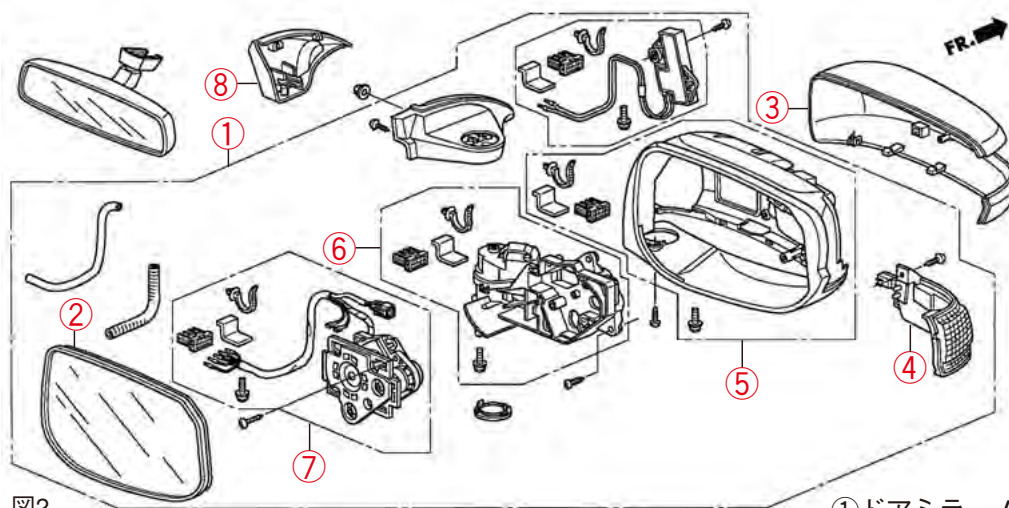


図2

- ①ドアミラー Assy
- ②ミラーサブAssy
- ③スカルキャップ
- ④サイドターンライトAssy
- ⑤ハウジングセット
- ⑥オートターンセット
- ⑦アクチュエータセット
- ⑧ドアミラーガーニッシュ

ドアミラー Assyにスカルキャップは含まれませんので、見積時には注意が必要です。

3. ダイハツ ムーヴ(LA100S・写真12)



写真12

【特徴】

ダイハツ ムーヴのアウトリヤビューミラー Assyにミラーウインカの装備はなく、アウトミラーカバーはボデー同色となります。(各部名称は図3を参照)

また、グレード「X “Limited”」「X」「フロントシートリフトX」には、標準装備としてキーフリーシステムが装着され、左右アウトリヤビューミラー Assyには「エレクトロカルキーアンテナ」が内蔵されています。(詳細は写真17.18)

【脱着方法】

アウトリヤビューミラー Assyを脱着するには、ミラー配線のコネクタを切離すためドアトリムを取外す必要があります。ドアミラー Assy、ドアトリムの取外し方法は以下の通りです。

- ①フロントドアアームレストベースパネルアップの切り欠き部(写真13・黄色枠内)に工具等を挿入させツメを外し、パワーウインドコネクタを切離してフロントドアアームレストベースパネルアップを取外します。

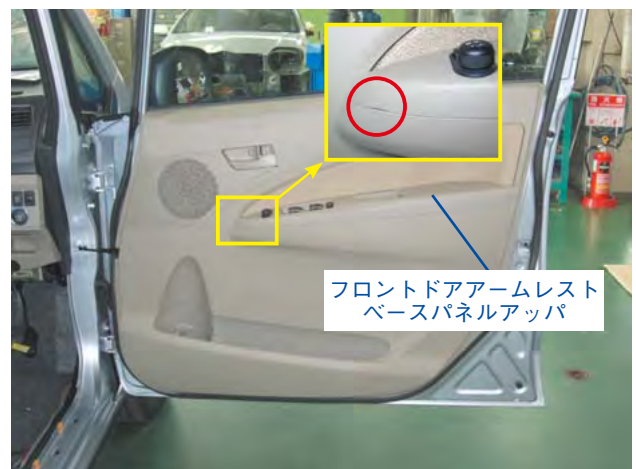


写真13

- ②スクリュを3本取外します。(写真14・黄色丸)

- ③ドアトリムを取外します。

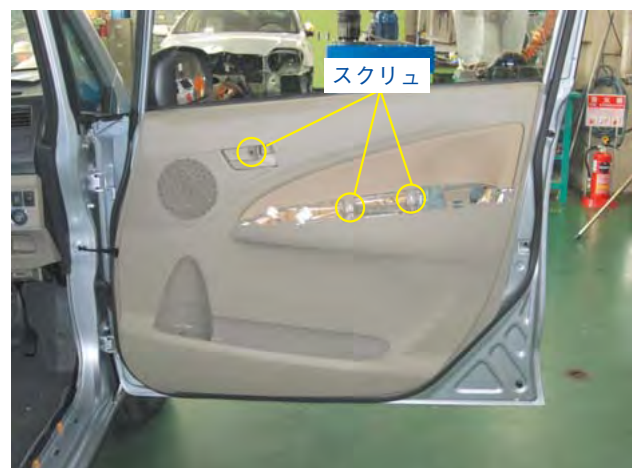


写真14

④アウタリヤビューミラー Assyの配線を通しやすくするためスピーカを取外し、フロントドアサービスホールカバーを1/4程度捲り上げ、アウタリヤビューミラー Assyのコネクタを切離します。
(写真15)

⑤アウタミラーカバーを取外します。
*写真16・赤丸部にツメがあります。

⑥アウタミラーカバーを取外すと、アウタリヤビューミラー Assyを固定しているボルトが3本確認できますので取外します。(写真16・青丸)

以上でアウタリヤビューミラー Assyの取外しは終了です。取付けは逆の手順で行います。

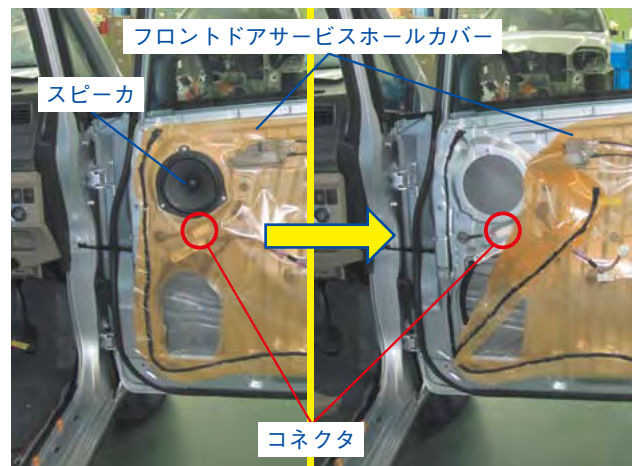


写真15

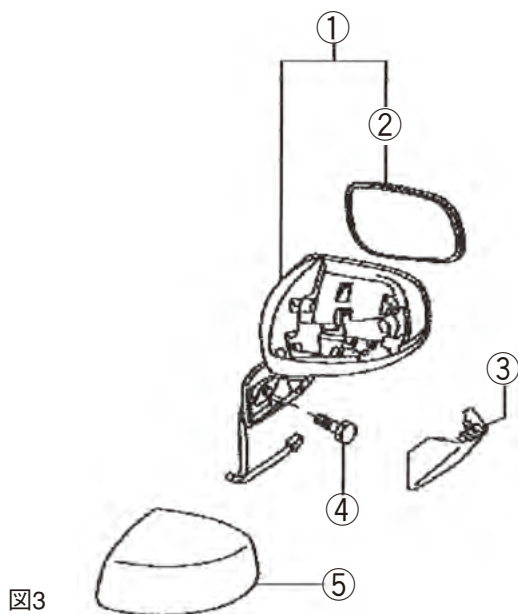


写真16

【部品補給】*2011年9月現在

部品補給は、図3の通りです。アウタリヤビューミラー Assyにアウタミラーカバーは含まれませんので、見積時には注意が必要です。

また、ハウジングロアカバー(写真18)は単品補給がありませんので取外しの際は慎重な作業が必要です。



- ①アウタリヤビューミラー Assy
- ②アウタリヤビューミラー
- ③アウタミラーカバー
- ④ボルト
- ⑤アウタミラーカバー

【アウトリヤビューミラー Assy内蔵エレクトリカルキーアンテナについて】

キーフリーシステム搭載車は、アウトリヤビューミラー Assyにエレクトリカルキーアンテナが左右に内蔵されています。この部品については、メーカー発行の修理書に以下の注意書きが記されています。

- ・エレクトリカルキーアンテナを落下させたり、大きな衝撃を与えないこと。
- ・万一、エレクトリカルキーアンテナを落下させたり、大きな衝撃を与えた場合は、外観上異常がなくてもエレクトリカルキーアンテナを新品に交換すること。

＊メーカー発行の修理書より抜粋

エレクトリカルキーアンテナはアウトリヤビューミラー Assyの下部に取付けられています。ハウジングロアカバーからの距離を参考として実測値を記載します。(写真17・18)

A:約 9mm (アウトリヤビューミラー Assy内側)

B:約14mm (アウトリヤビューミラー Assy中央)

C:約19mm (アウトリヤビューミラー Assy外側)

＊数値は自研センターが所有する車両にて計測したものです。車体誤差、計測器誤差、人為的誤差などが考えられますので参考としてください。

参考文献

ダイハツムーヴ修理書No.1 (C巻)

JKC (技術開発部／曾雌祐矢)

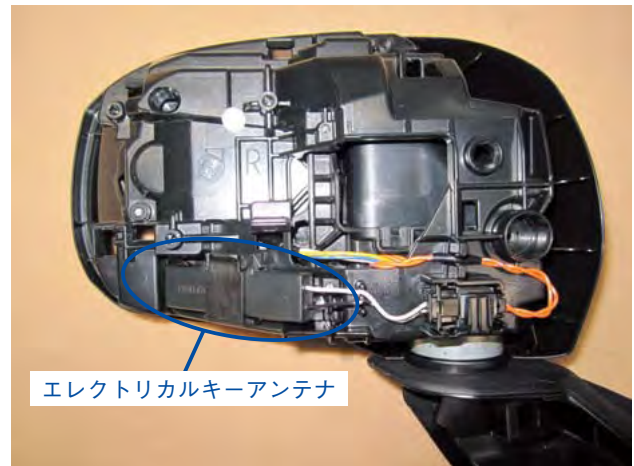


写真17

アウトミラーカバー、ハウジングロアカバー取外し状態

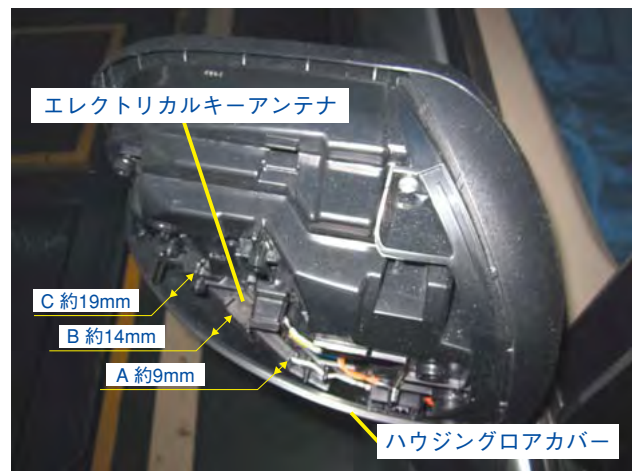


写真18

アウトミラーカバー取外し状態

「構造調査シリーズ」新刊のご案内

自研センターでは新型車について、損傷した場合の復元修理の立場から見た車両構造、部品の補給形態、指数項目とその作業範囲、ボデー寸法図など諸データを掲載した「構造調査シリーズ」を発刊しています。今月は右記新刊をご案内いたしますので、是非ご利用ください。販売価格は1,120円です(送料別)。

No.	車 名	型 式
J-625	トヨタ アベンシス	ZRT272W系
J-626	ニッサン モコ	MG33S 系

お申し込みは自研センター総務企画部までお願いします。

TEL 047-328-9111 FAX 047-327-6737

フォルクスワーゲン ゴルフの フロントエンドコンパートメント構造

フォルクスワーゲン ゴルフのフロントエンドコンパートメント構造について紹介します。

なお、2010年11月発刊の構造調査シリーズ「No.J-599フォルクスワーゲン ゴルフ(1KCAX)」に今回の情報を含め詳細を掲載していますので、是非ご利用ください。



エンジンルーム概要

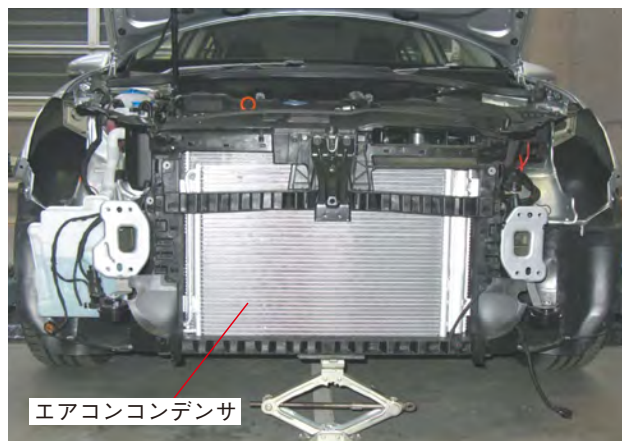
CAX直列4気筒DOHCインタクーラ付ターボ(1,389cc)仕様エンジン



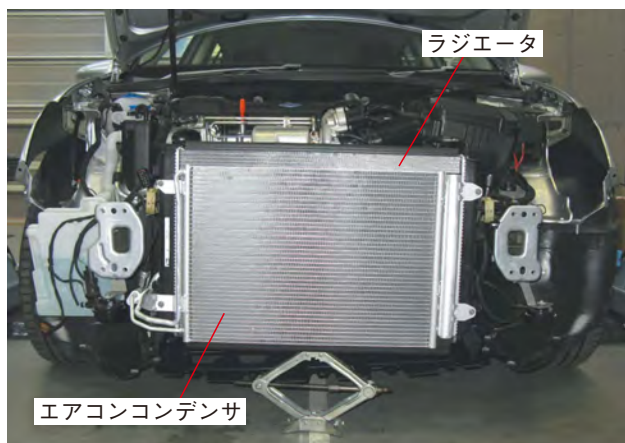
バンパカバー、ラジエータグリル取外し状態



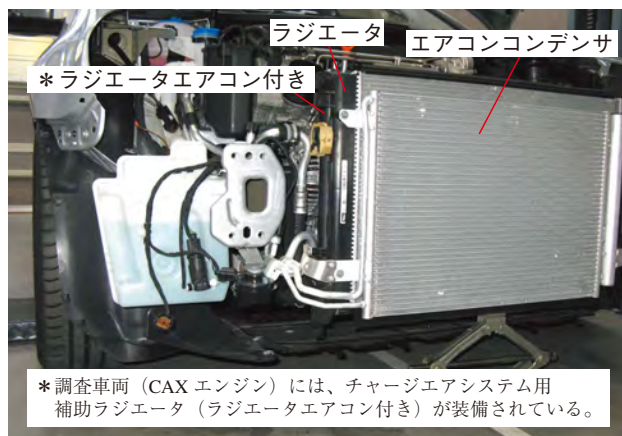
サイドリインホースメント、ヘッドランプ取外し状態



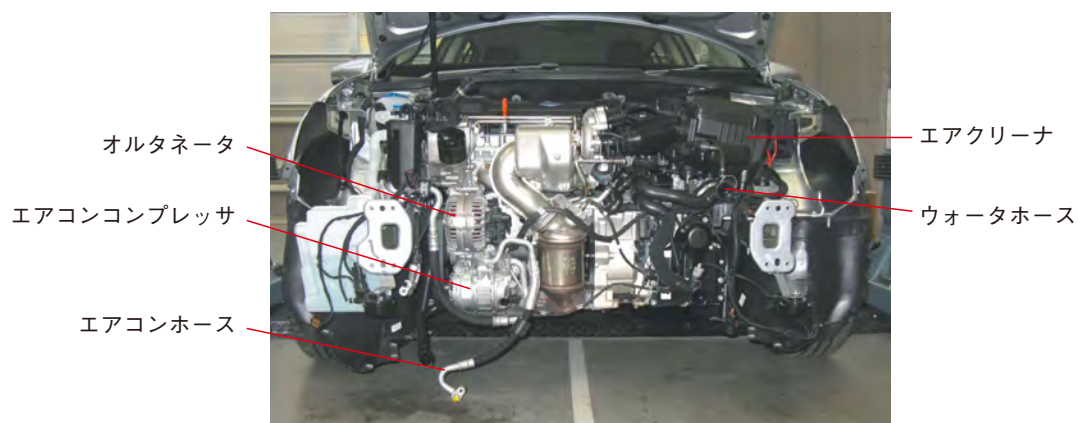
ロックキャリア取外し状態



ロックキャリア取外し状態



エアコンコンデンサ、ラジエータ取外し状態



左側フロントフェンダ取外し状態



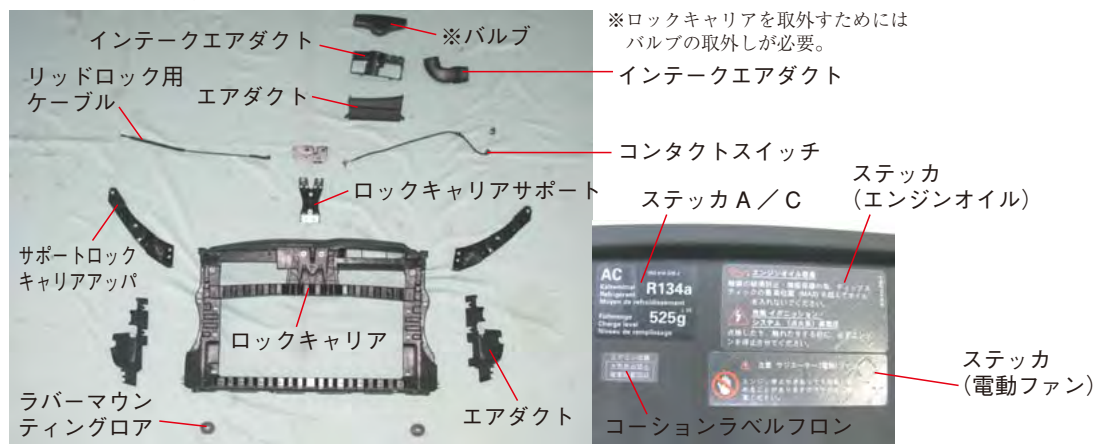
右側フロントフェンダ取外し状態



バンパカバー構成部品



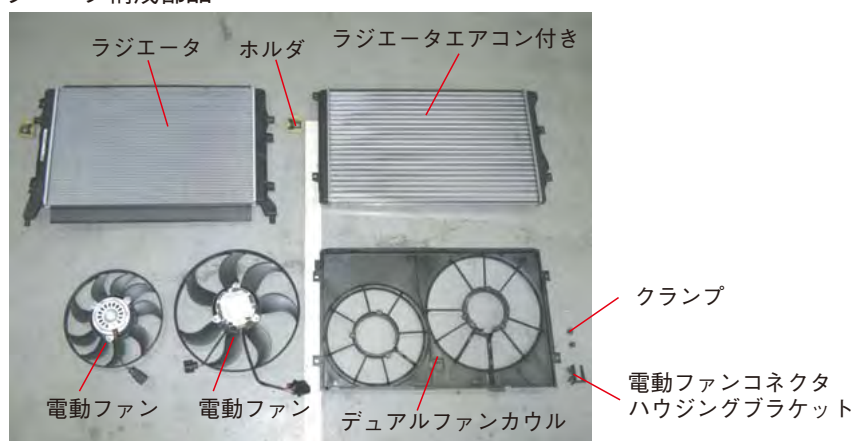
ロックキャリア構成部品



エアコンコンデンサ



ラジエータ構成部品



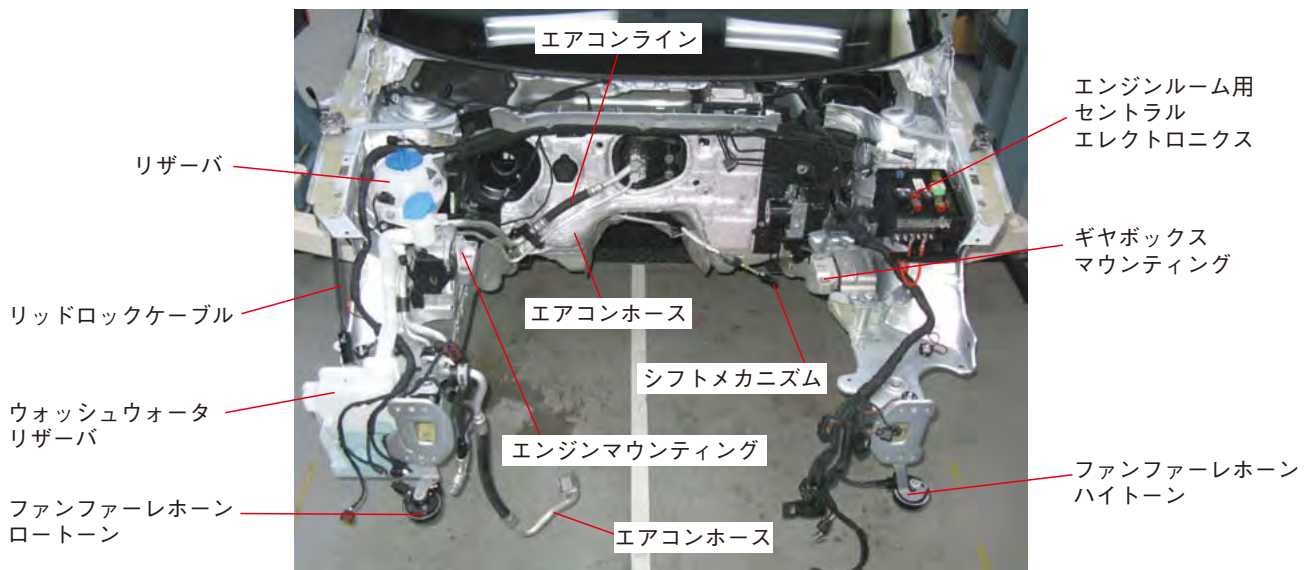
エンジン取付状態(上側)



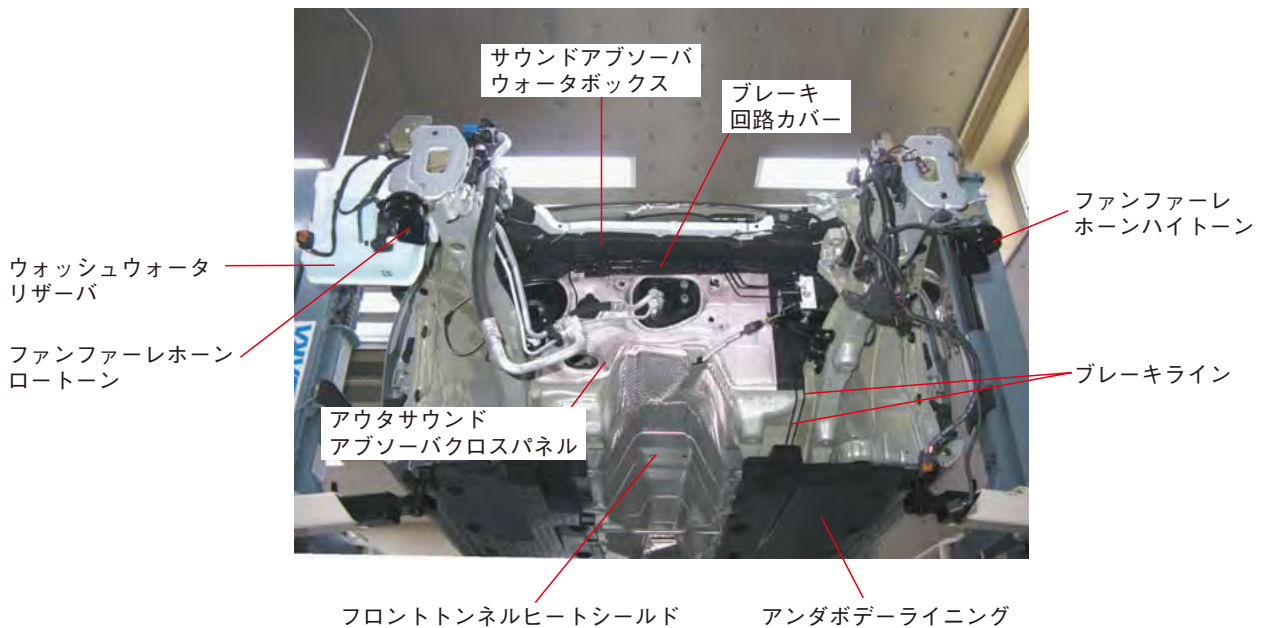
エンジン取付状態(下側)



エンジン取外し状態(上側)



エンジン取外し状態(下側)



作業事例紹介

1 ホンダ フィット(GE6)の左右フロントシートベルト アウト取替時の取外し部品について

ホンダ フィット(GE6)の左右フロントシートベルトアウト(以下、運転席シートベルト、助手席シートベルト)取替時の取外し部品について紹介します。(写真1)



写真1

運転席シートベルトの取外しには以下の部品の取外しが必要です。(写真2)

- ①右センタピラーガーニッシュ
- ②ショルダースライドアジャスタカバー
- ③右センタピラーガーニッシュ
- ④右カウルサイドライニング
- ⑤右フロントサイドガーニッシュ Assy
- ⑥右リヤサイドガーニッシュ Assy
- ⑦ドライバアンダカバー Assy



写真2

助手席シートベルトの取外しには以下の部品の取外しが必要です。(写真3)

- ①左センタピラーガーニッシュ
- ②ショルダースライドアジャスタカバー
- ③左センタピラーガーニッシュ
- ④左カウルサイドライニング
- ⑤左フロントサイドガーニッシュ Assy
- ⑥左リヤサイドガーニッシュ Assy

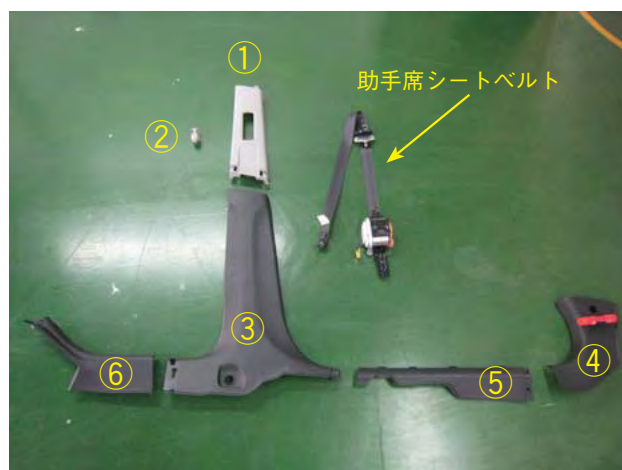


写真3

参考品番(2011年10月現在)

左フロントシートベルトアウト 81850-TF0-J01ZA

右フロントシートベルトアウト 81450-TF0-J01ZA

JKC (技術開発部/佐々木孝一)

2

日産フーガ(Y51)のリヤパネル アッセンブリの形状

この車両はリヤパネル形状に特徴があるため紹介します。(写真1)



写真1

リヤパネルアッセンブリ左右上部(写真2赤丸部)は一見すると損傷と判断されるような形状をしています。しかし、損傷ではなくオリジナル形状です。



写真2

トランクリッドやテールランプなどへの軽微な入力がある場合は、リヤパネルの形状に注意を払い、損傷診断を行う必要があります。(写真2、3)



写真3

JKC (技術開発部/加賀美充)

3 マツダ アクセラ(BL5FW)ヘッドランプブラケットの補給形態と取替作業

マツダ アクセラ(BL5FW)の補修用ヘッドランプブラケットの補給形態と取替作業について紹介します。(写真1)



写真1

写真2は損傷したヘッドランプです。黄色○部の取付ブラケットが破損しました。



写真2

補修用ヘッドランプブラケットとスクリュ。 (写真3)

補修用ヘッドランプブラケットとスクリュは別々に補給されます。

参考:ブラケット品番(2011年10月現在)

右側	・ハロゲン:BDY7-51-0A7
	・AFS付 :BDY8-51-0A7
	・AFS無 :BDY9-51-0A7
左側	・ハロゲン:BDY7-51-0B7
	・AFS付 :BDY8-51-0B7
	・AFS無 :BDY9-51-0B7

参考:スクリュ品番:99875-0416

*補修用ブラケットの品番は異なりますが取替方法は共通です。



写真3

参考:ヘッドランプは取付箇所が3箇所あります。
このうち補修用ブラケット補給設定があるのはA
部のみです。(写真4)

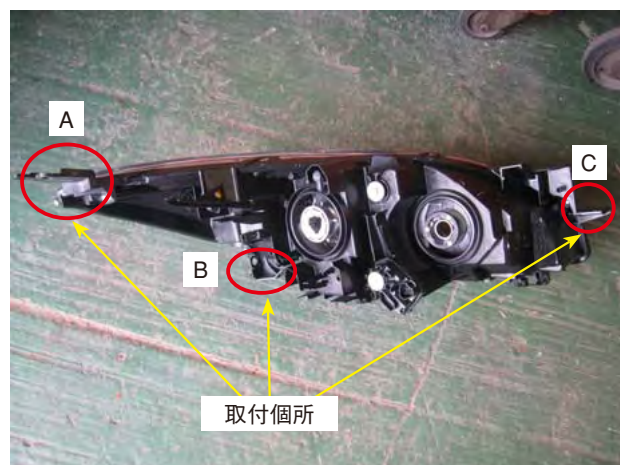


写真4

[ヘッドランプブラケット取替作業]

カッタナイフ等で補修用ヘッドランプブラケット
と干渉する部位をカットします。(写真5)



写真5

補修用ヘッドランプブラケットをスクリュで固
定し(ランプボデーにスクリュ止め用の穴があり
ます)、作業終了です。(写真6)



写真6

補修用ヘッドランプブラケット取付後の状態。
(写真7)



写真7



<http://www.jikencenter.co.jp/>

〈お詫びと訂正〉

自研センターニュース10月号6頁、高電圧システムの作動停止の写真コメントに誤りがありました。下記の通り訂正しお詫び申し上げます。

誤:助手席シート前方下に位置するサービスホール12V コネクタ
正:助手席シート前方下に位置するサービスホール

自研センターニュース 2011.11 (通巻434号) 平成23年11月15日発行

発行人/池田直人 編集人/小林吉文

©発行所/株式会社自研センター 〒272-0001 千葉県市川市二俣678-28 Tel (047) 328-9111 (代表) Fax (047) 327-6737
定価400円 (消費税込み、送料別途)

本誌の一部あるいは全部を無断で複写、複製、あるいは転載することは、法律で認められた場合を除き、著作者の権利の侵害となります。必要な場合には予め、発行人あて、書面で許諾を求めてください。
お問い合わせは、自研センターニュース編集事務局までご連絡ください。